



つくるう伸びゆく市員中

学校教員 職員
共に働く 成長力

No.2 令和2年5月

○学校再開におけるコロナウイルス感染予防のための対応

6月1日より、約2ヶ月振りに学校が再開となります。教職員も久し振りに生徒と一緒に学校生活を送ることができるようになり、学習と生活の支援に励むべく、決意を新たにしております。そして何よりコロナウイルス感染防止に力を注ぐことは言うまでもありません。市員中学校としてのコロナウイルス感染防止策を、下記のとおり実施したいと思っておりますので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

1 生徒の健康について

- 朝、各家庭で検温を必ず行い、生徒に検温表に記入させてください。登校したら昇降口で検温表を提示し、学年ごとに担当教員が確認します。37.0℃以上の生徒は、早退とし自宅で休養をとるようにお願いします。また、学校にいる時に、体温が37.0℃以上になった場合は、家庭に連絡し迎えをお願いします。



2 教室環境

- 廊下側の仕切りを外し、座席は縦4列、横8・9列、間を1メートル離します。
- エアコン、扇風機、窓の開放の3つを併せて、室温管理と換気に心がけます。また休み時間ごとに窓を全開にします。

3 消毒

- 登校時、昇降口で必ずアルコールを使って手指消毒を行います。
- 校内では、基本的には石けんによる手洗いを徹底します。
- 教室の出入り口のドアや電気のスイッチ、水道蛇口、トイレのドアノブ（外側・内側）、水を流すボタン、レバー、石けんポンプ等を、担任と副担任とで分担して消毒します。
- 特に移動教室後には必ず手洗いを行います。洗い場では、前後の人との距離を保ち、無言で並ぶようにします。
- ハンカチ・タオルの共用はさせないようにします。
- アルコール設置箇所・・・昇降口、各教室、特別教室、職員室、保健室
- 次亜塩素酸水設置箇所・・・・保健室、教師ステーション、職員室



4 給食



- 給食前には、液体石けんで手洗いを行った後に、教室に配置されたアルコールで消毒を行います。
- 当番は、担任による健康チェックを受けて、白衣、マスク、フェイスシールドを付けて行います
- 全員前を向いて食事をとります。机上には、タオル、ハンカチを置きます。
- 配膳から食事修了まで、できる限り話をさせないようにします。

5 登下校

- 学年ごとに分散させます。登校時間を学年で、10分ずつずらします。
3年生7:40分までに登校 2年生7:50分までに登校 1年生8:00分までに登校
※7:30分前には、登校しないようにお願いします。
- 役場で迎えを待つときは密集しないように指導します。
- 当分の間、更衣室の密集を防ぐためジャージ登校とします。

○創立記念、市貝中統合時の思い出

例年市貝中学校では4月28日を創立記念日として、その前後で創立記念講話を行っています。4月28日の創立記念日は、昭和22年4月28日新学制施行により、市羽村立市羽中学校と小貝村立小貝中学校が開校した日です。

今年はコロナウイルス感染防止の臨時休校で行うことができませんでしたので、ここに「市貝中統合時の思い出」として、当時のことを少々書かせていただきます。

私は、市貝中学校が統合した昭和50年に入学し、53年3月に卒業しました。ついこの間の事のように思えるのですが、もう40年以上も昔のことになってしまいました。

1 昭和52年度のこと

(1) 生徒数 全校生男子214名 女子237名 計451名

・・・ちなみに、同級生は男子81名 女子91名 計172名でした。

また統合後生徒数が1番多かったのは、平成11年度の531名です。

(2) 日課表

・・・土曜日も4時間授業があり、弁当を食べてから部活動でした。

(3) 部活動

柔道部、卓球部、テニス部、バレー部、体操部、造形部、弓道部、サッカー部、バスケット部、剣道部、野球部、プラスバンド部

・・・常設は以上12部で、各部とも県大会まではいったと思いますが、関東・全国大会出場はありませんでした。今の部活動の方が強いですね。



<県総体サッカー大会 昭和52年7月 総合グラウンド>



<市貝中生による石下古墳発掘 昭和53年1月>

(4) クラブ活動

・・・当時は時数も多かったので、今はない週1回のクラブ活動がありました。演劇や郷土研究、茶華道、落語、文芸等それぞれの趣味や特技に応じて活動しました。郷土研究クラブでは、滅多にできない縄文遺跡や古墳の発掘も行いました。

(5) 身だしなみ・・・男子は丸刈り、学帽着用。当時中学生は学帽に白線を入れていました。



2 統合10周年記念誌（昭和57年発行）からの転載

「私はこの市貝中学校ができて最初の入学生の人でした。グラウンドが野球場と交わる事のない広い校庭。3階建てでベージュ色の大きな校舎、これらを見た私は、その大きさと立派さに驚きました。そして初めて階段や屋上のある校舎、生徒が多く組み分けのある学校に入学できたのが、たいへんうれしいことでした。烏山と市塙を結ぶ県道を北から自転車で行くと、木々の頭越しに市貝中の大きな時計棟が見えてから学校まであと5分です。入口の坂を登っていきパッと目の前が開けると、新しく立派な校舎が迎えてくれます。

しかし当時は、校舎や体育館はたいへん立派だったわりに、初年度ということで、プールはもちろん武道館や技術室、自転車置き場もありませんでした。自転車は校舎の前に1列に並べておき、雨が降りそうになると大きなビニールをかけに行きました。また校庭も完全には整備されていなかったため、雨が降ると泥沼のようになってしまいました。そのため1日に1回は校庭の石拾いや砂入れをしました。今では嘘のようなつかしい思い出です。」



<運動会 昭和52年9月25日>